



特定非営利活動法人 女性技術士の会 ニュースレターvol.12

今年の夏は格別に暑いようです。みなさま、いかがおすごでしょうか。

本ニュースレターは、特定非営利活動法人女性技術士の会会員のみなさまへ、本会の活動内容を中心にお知らせいたします。

第12号では、2012年5月～8月の活動内容、会員からの発信、リレーエッセイ、運営報告、今後の活動予定などをお届けします。

会員からの発信やリレーエッセイなど、楽しい記事も満載です。どうぞ、お楽しみください。

CONTENTS

活動内容		1 ページ
2012/5/11	山梨大学「理系女性のキャリア形成」講義	1 ページ
2012/5/19	第5回通常総会・意見交換会	2 ページ
2012/6/16	第14回技術サロン（WPETF 活動への協力）	3 ページ
会員からの発信		3 ページ
渡辺弘子さん	「信じる心」	3 ページ
リレーエッセイ		4 ページ
犬走朱見さん	「はじめまして犬走です」	4 ページ
技術サロン参加学生からの感想		5 ページ
鈴木悠さん	「前進」	5 ページ
INWES-Japan 都河明子会長の受賞		6 ページ
会員の受賞		6 ページ
佐藤国仁さん	公益社団法人日本技術士会 平成24年度会長表彰受賞	6 ページ
運営報告		7 ページ
今後の活動予定		7 ページ
2012/09/15	第15回技術サロン（WPETF 活動への協力）	7 ページ
2012/10/17～19	第6回 日韓女性技術士交流会	7 ページ
2012/11/9～10	おもしろいまちづくり 第5弾 一目指せエコ達人ー（参加型）	7 ページ
技術士をめざして		8 ページ
寄崎舞音さん	きっかけと技術士	8 ページ

活動内容（2012/5～2012/8）

山梨大学「理系女性のキャリア形成」講義

◆ 開催日：2012年05月11日（金）13：10～14：40

- ◆ 場 所：山梨大学工学部 T1-23 ゼミ室
- ◆ 活動形態：要請参加
- ◆ 主 催：山梨大学 鳥養映子先生
- ◆ 参加者：本法人 廣瀬 受講者 学生 24 名（男女）
- ◆ 経 緯：「理系女性のキャリア形成」講座の一環として技術士を紹介する。
- ◆ 目 的：企業内で働く技術者に必要なことは何かを知ってもらう。特に JABEE 課程の学生には、技術士資格取得の方法・メリット等を理解してもらう。
- ◆ 概 要：
 - ・技術士とはどんな資格か（技術者の定義・プロフェッションの定義）
 - ・私の経験（技術者の役割・やりがいとは何か）
 - ・学生へのアドバイス



今回は、今までで最も受講者が多く会場が満員だった。受講者は全員が技術者を目指す学生ばかりではないが、それぞれが社会に出て働く時に大切な心構えのヒントになるような話ができるように心がけた。質疑応答の時間を取る設定だったので、ほとんど全員から質問をしてもらって講義中に話し忘れたことなども話すことができた。

第 5 回通常総会・意見交換会

- ◆ 日 時：2012 年 5 月 19 日（土）
 - 14：00～15：05（第 1 部）
 - 15：20～16：45（第 2 部）
- ◆ 場 所：大田区産業プラザ Pio6 階 C 会議室
- ◆ 概 要：



第 1 部の第 5 回通常総会は、正会員 69 名のうち出席者 18 名、委任状提出者 33 名、出席議決数 35 名であり、総会成立条件である正会員の 1/2（51 名）以上に達したことから総会は成立した。議長は理事長岩熊まき、議事録は石田佳子、議事録署名人は酒井一江及び喜多和が担当した。

総会では、以下の議案が原案通り承認された。

- ・第 1 号議案 平成 23 年度事業報告及び収支決算に関する件
- ・第 2 号議案 平成 24 年度事業計画及び収支予算に関する件
- ・第 3 号議案 監事選任に関する件

総会成立宣言、理事長挨拶に続き、事務局長石田が総会資料に基づき事業報告及び事業計画を説明した。なお、第 1 号、第 2 号議案議決に先立ち「震災復興支援事業に関する基本方針」を定めたことを改めて公表した。また、会計担当角田が収支決算報告・予算案を説明後、「会議費等 NPO としての活動で発生した経費は支払う用意がある」ことを付加した。第 3 号議案では、理事会から現任関矢英士氏の推薦があり、満場一致をもって賛成となり、関矢氏は監事就任を受諾した。

・監査報告

関矢監事の監査報告では、「業務に関しては定款に沿って適正に執行」に加え「活動は技術士として模範的」との評価を頂いた。

・その他報告

理事長岩熊が理事会報告に続き、新体制の協議が進行している旨の報告を行った。

第2部では、木村より今回の意見交換会の趣旨説明、出席者の自己紹介ののち、自由発言による意見交換会に入った。懇親会は15名が出席し、歓談した。

■ 第14回技術サロン（WPETF活動への協力）

◆ 日時：2012年6月16日（土）13：30～16：00

◆ 場所：中央大学駿河台記念会館7階715会議室

◆ 活動形態：協力

◆ 主催：公益社団法人日本技術士会 男女共同参画推進委員会

◆ 参加者：委員会 岩熊、小林、笹尾、中野

WPETF 角田、喜多、廣瀬 本法人 犬走、志田

一般参加者 9名（女子学生6名、社会人3名） ※アンダーライン付記はNPO会員

◆ 経緯：WPETFの主な活動目的の一つである女性技術者のキャリア形成支援事業の一環として、JABEE課程と技術士制度の説明及び先輩女性技術士との懇談を企画したもの。2008年11月に初回を実施し、同企画で第14回目。第11回目から、男女共同参画推進委員会主催で実施、NPOはこれに協力している。

◆ 目的：JABEE課程履修及び技術者を目指す女子学生が、卒業後の技術者としての自分の姿を思い描き、学校での勉学をもとに、充実したキャリアを積んでいくために、現役の女性技術士と意見交換をする場を提供すること。なお、NPO法人賛助会員の支援により、NPOの震災復興支援事業の一環として、福島県的女子学生2名を招待した。

◆ 概要：

はじめに技術士制度について概要を説明した。次にアイスブレイクにより参加者全員で打ち解けた後、フリーディスカッションを行った。今回は一般参加者9名に対し、ホスト側も9名と充足していた。一般参加者に社会人が3名いて経験年数が少しずつ異なることから、学生には身近な存在として参考になったと思われる。ホスト側も技術士会から男性2名、NPOから初参加者2名の参加により、いろいろな角度から意見を発信することができた。



会員からの発信

■ 渡辺弘子さん（建設部門） 「信じる心」

仙台へ越して10年が経った。ここで、本業のかたわら、大学の非常勤講師をしている。この大学には礼拝堂があり、そういうものでもないと思うが、学生は朝の礼拝に週何回か以上参加することが必須とされている。日常生活で神社仏閣にお参りする機会は多少あっても教会に行く機会はほとんどない。せっかくの機会なので学生に交じって半期ほど通ってみることにした。明治時代の優秀な土木屋にはクリスチャンが多い。広井^{いさみ}勇^{あきら}しかり、青山^{あきら}士^{あきら}しかり。私もあやかってみよう。

新学期初日の礼拝で牧師が言われた。「礼拝とは『神をして価値あらせる』ことです。」おお、そうか、そうだったのか。礼拝とは何となく神様に感謝したり懺悔したりする場だと思っていたのであるが違いうらしい。「一同に集い、賛美歌を歌い、聖書を読むことによって、神が人生の中で最も価値あることを認識するのです」。ほう。「神を信じる私は、キリストの復活を信じます」。あ、やっぱり。

実は、私は「宗教好き」である。公の場で宗教や政治の話をするのは野暮だが、まあ、密かなつ



ぶやきと受け取っていただきたい。宗教好きと言っても信仰心が篤いのではない。特定の宗教に入信しているのでもない。私の母は毎朝「お寺さん」に通う人であったのだが、私が思うに母の行動も決して信仰心からではない。母にとってのお寺さんは、いみじくも父が模したとおりカルチャークラブであったと思う。気の合う仲間同士で、春にはバザーをし、夏には子供会を催し、秋には各地のお寺さんをお参りし、冬にはお互いの家を訪ね歩く、そんな集まりの本拠地が近所のお寺だったというだけのことである。ちなみに、母亡き後は、心優しく母のアッシー君をしながらもそんな集まりを擲擧していたミイラ取りの父が、周囲におだてられ助けられミイラとなって楽しんでる。

子供の頃、母に同行させられながらも一向に信仰心の育たなかった私であるが、「門前の小僧」でお経は誦んじていた。長じてから思い立ってそのお経を改めて読んでみると、それには「これが究極の経典」であり、「信じる者には無限の恩恵が与えられる」と書いてありながら、その有難いお経にはいわゆる「真理」のようなものは何も説かれておらず、ただ、このお経がいかに素晴らしいかを褒めちぎったお経がそのお経であるという、摩訶不思議なメビウスの輪のようなお経であった。法華経である。

はて、面妖な。経典とはみなこのようなものであるか。手近なところで般若心経も読んでみた。サンスクリット語がわからないと肝心のところが理解できない。そういうものではなく体感するものであると言われても頭が納得しない。ついでに密教の本も読んでみた。おお、子供の頃大好きだったテレビ番組の「オンマヤソワカ、ハンニャリソワカ」という呪文は（記憶はいいかげんである）これだったのか。チベット密教も読んでみた。なんだかエロい。ヒンズー教も読んでみた。こりゃギャグか。神道はお祭りだし、陰陽道は星占いだし、禅はナゾナゾだ。となると、キリスト教か。しかし、私にはキリストの復活が信じられない。ユダヤ教はモーセが海を二つに割ったのが信じられないし、イスラム教は預言者ムハンマドが胡散臭い。それに、そもそも一神教は、八百万の神様と生きてきた私とはどうも相容れない。

信仰とはそもそも経典を読むだけではダメで、実践してこそその信仰なのであろうが、私はそこに至っていない。ただ、天の上には大いなる意思があって、空気の中には大いなる意思の気持ちを汲んだ柔らかい何かふわふわと漂っていて、私たち生きているものを見守って、時にはたすけてもくれるのではないかと、漠然と信じているだけなのである。だから、その大いなる意思は神様でも仏様でも御先祖様でも宇宙の法則でも良いし、ふわふわしたものは天使でも精霊でもお釈迦様が放たれた蓮の花びらでも、かつて宇宙を満たしていると言われたエーテルでもなんでも良い。こういう心持ちの者に真の信仰心は芽生えないだろうと思うが、そんなふわふわを感じながら見上げる仙台の空は、何となくふわふわの濃度が濃いような気がするのであった。

リレーエッセイ

■ 犬走朱見さん（上下水道部門、総合技術監理部門） 「はじめまして犬走です」

今年度より広報部会担当理事を務めさせて頂くことになりました犬走朱見です。ニュースレターのリレーエッセイのバトンを受け、せっかくの機会ですので簡単な自己紹介をさせて頂こうと思います。

子供の頃は引っ込み思案で依頼心が強く、何をすることも「誰かと一緒」でなくてはできない子供でしたが、中学2年生の転校を機に、少し自立心が芽生えたようです。中学・高校の6年間は、背が高くなりた一心でバスケットボール部に所属するバリバリの体育会系でしたが、残念ながら身長は一向に伸びま



せんでした（足は太くなりましたが…）。でも基礎体力はついたようで、今でも風邪はめったにひきませんし、連日残業の過酷な労働環境の中でも何とか生き延びています（育ち盛りの頃の運動は大事ですね！）。

大学は数学科に進みました。理系を目指した理由は、単純に『文系が苦手だったから』という情けない理由からでしたが、我が身を振り返って、大学受験の段階で、『その先のなりたい自分・やりたい仕事』を見据えた進路指導の重要性を強く感じます。

大学では、それまでの体育会系生活から足を洗い、大学2年生から弦楽合奏団に入部し、全くの初心者からバイオリンを始めました。大学時代は教室よりも部室に居る時間の方が長いくらいで、『専攻はバイオリン科、趣味は数学』という学生生活でした。ハタクソバイオリニスト一人では聴くに耐えない調べでも、皆で弾くとお互いがカバーし合い、全部自分一人で弾いた気になり、楽しくて、すっかり合奏の魅力にハマってしまいました。そしてこの趣味は、大学を卒業して〇十年経った今でも続いており、現在は社会人のアマチュアオーケストラに所属しています。

私が大切にしているもう一つの趣味に、『ガーデニングとフラワーアレンジメント』があります。『老後は優雅にお花の先生に！』と、30代の初めにフラワー教室に通い始めたのがきっかけでしたが、花の持つ癒しの力に魅せられ、今では、花やグリーンを育てる楽しさにも開眼し、ネコの額ほどの我が家の庭でコンテナガーデンを楽しんでいます。

さて、肝心の仕事の話が最後になりました。大学卒業後すぐは生命保険会社に入社し、その後、水処理関連のコンサルタントで派遣社員として勤務しておりましたが（この間に技術士資格を取得）、現在は、環境関連公共施設（清掃工場、浄水場、下水処理場等）の運転維持管理を主たる業務としている会社の技術部門におります。ここに至るまでの紆余曲折の経緯は長くなりますので涙をのんでハシヨルことにしますが、これまでの人生を振り返ってみれば、音楽と花はいつも私に寄り添い、励まし、背中を押してくれました。大好きな趣味が二つも見つかって本当に良かったと思います。

考えてみれば、私はこれまで、仕事・趣味を通じて、人間が豊かな生活を送るための三要素とも言うべき『水・音楽・花』に関わってきた訳ですが、その幸運に感謝をしつつ、今度は私自身が、このNPO法人の活動を通して、後輩女性技術者及びそのたまごたちを励まし、背中を押してあげる役割が担えれば嬉しいなと思います。



タイトル：花のワルツ
（フラワー教室の卒業作品展）

考えてみれば、私はこれまで、仕事・趣味を通じて、人間が豊かな生活を送るための三要素とも言うべき『水・音楽・花』に関わってきた訳ですが、その幸運に感謝をしつつ、今度は私自身が、このNPO法人の活動を通して、後輩女性技術者及びそのたまごたちを励まし、背中を押してあげる役割が担えれば嬉しいなと思います。

技術サロン参加学生からの感想

■ 鈴木悠さん（福島工業高等専門学校専攻科） 「前進」

今回の技術サロンを通して、技術士という資格がどういったものなのかという理解を深めることができ、とてもよい経験になりました。

参加する前は、技術士の資格について延々と説明を受けるのかなと意気消沈していたのですが、そういったこともなく、有意義な時間を過ごすことができました。JABEE 課程を修了していれば技術士の一次試験が免除されたり、技術士の資格を持っていることによって金銭面や処遇に関して優遇されるケースがあったりと、初めて知ることばかりで勉強になりました。

特に、技術士の資格を取ることによって、自分の能力に自信を持つことができ、さらに他の人に

アピールできるという点に魅かれました。また、工業系の会社で働いている女性の先輩方の話を聞くことができたのはよかったです。女性の立場は改善されてきているようですが、実際に働いている女性の中には認められていないという人もいて、いろいろな意見が出てきましたが、先輩方の励みの言葉には、私も味方を得ることができたような気分になりました。仕事のことに限らず、家事との両立の大変さについても伺って不安にもなりましたが、同時に、これまで両立をさせてきている方々がいるのだから、きっと大丈夫だという安心感も得ることができました。



2011年3月11日はちょうど謝恩会が開かれる予定で、実行委員だった私は学校で準備をしていました。その最中、長い余震の後に立っているのが困難になるほどの強い揺れが起こりました。そのときはただただ怖かったです。幸い、学校や私の自宅への被害は少なく済みましたが、卒業式は中止となり、学校の多くの友達とお別れのあいさつもできないまま離れ離れになってしまいました。今もそれが残念でなりません。学校もいつ始まるのかわからない状態で、不安な避難生活を過ごしていました。今では落ち着きを取り戻し、帰省してきた友人たちと会える機会も増え、卒業式ができなかった分、元クラスの結束力が強固になったようにも思えます。

働いている友人たちの話を聞き、やはり工業系の職場に就いている女性の立場はまだまだ弱いのだなという印象を受けました。化学の分野で技術士の資格を取得している人は、土木系に比べてとても少ないようですが、資格を取ることによって能力を認めてもらえるなら、私も挑戦してみよう！と意気込んでいる今日この頃です。（NPO震災復興支援事業により第10回サロンに参加）

INWES-Japan 都河明子会長の受賞

INWES-Japan の都河会長は、6月22日、文部科学省よりの推薦により「内閣府 男女共同参画社会づくり功労者 内閣総理大臣表彰」を総理官邸にて受けました。この賞は毎年10名程が受賞されるとのことです。本法人はINWES-Japanの構成団体であり、都河会長には本法人の設立総会で基調講演をしていただいています。文科省による推薦理由は以下のとおりです。

「都河氏は、日本学術会議との共催で日本初の『第11回国際女性技術者・科学者会議』を開催し、国際交流のもと日本の女性研究者の活躍を紹介した。また、科学技術振興調整費を得て国内外の女性研究者の現況・施策を調査研究し、女性研究者の能力発揮のための政策提言を行った。さらに、理工系女子学生育成のため、理科実験教室の開催、理系職紹介のDVDの作成、地域社会での数々の講演、日本女性研究者・技術者の活躍を紹介し女子中高校生へ理系への進学を勧める本の出版など、科学技術分野での理解増進を深める活動を長年行っている。都河氏の活動により、科学技術分野において優秀な女性研究者の人材を確保するとともに、当分野での研究及び科学技術政策の柔軟性・活性化を高め、我が国の科学技術の振興へ向け大きく寄与している。」

推薦理由にある『第11回国際女性技術者・科学者会議』（ICWES-11）やDVDの作成、講演会等には本法人も深く関与しています。この受賞をお祝いして当会とJWEF（日本女性技術者フォーラム）合同で受賞祝賀会を計画しております。日にちは9月～10月の予定です、皆様ご参加ください（詳細な日時場所は後日メールで配信いたします）。

会員の受賞

■ 佐藤国仁さん 公益社団法人日本技術士会 平成 24 年度会長表彰受賞

佐藤さん（本会賛助会員）は日本技術士会の登録グループ「子どもの安全研究グループ」の責任者であり、グループが、ふじみ野市プール吸水口における事故調査報告書を同市市長に提出した模様が NHK ニュースや新聞にて報じられ、その活動が会の知名度向上に大きく貢献したとして受賞されました。

運営報告

主体	日時	議題
理事会	2012/04/21、06/02	ホームページ議事録を参照
企画部会	2012/07/03 19：00～22：00	おもまちシンポ第 5 弾の内容
広報部会	2012/08/02 19：00～22：00	女子中高生夏の学校、サイエンスアゴラ、ニュースレターvol.12、今後の活動実施体制
総務部会	日常的な運営	会計および入退会、メールアドレス等変更に関する事務
国際部会	2012/7/14 (NWES-J 運営委員会)	今後の活動計画

今後の活動予定

■ 第 15 回技術サロン（WPETF 活動への協力）

- ◆ 日 時：2012 年 9 月 15 日（土）13：30～16：00
- ◆ 場 所：（公社）日本技術士会荻手第 2 ビル 5 階 CD 会議室
- ◆ 対 象：技術者及び技術士を目指す女子学生・女性
- ◆ 定 員：15 名
- ◆ 参加費：無料
- ◆ 内 容：「技術士」資格に関する説明、意見交換会
- ◆ 申込先：廣瀬由紀 wpetf@pej-lady.org

■ 第 6 回 日韓女性技術士交流会

第 42 回日韓技術士会議（10 月 17 日（水）～19 日（金））の初日、日韓女性技術士交流会が開催されます。皆様ふるってご参加ください。名古屋でお待ちしております。

- ◆ 日 時：平成 24 年 10 月 17 日（水）15:00～18:00
- ◆ 場 所：ホテルキャッスルプラザ（名古屋駅から徒歩 5 分ほど）
- ◆ その他：交流会では、日本の伝統文化の紹介を予定しています。

第 42 回日韓技術士会議（愛知・名古屋）の開催案内は下記 HP 参照

http://www.engineer.or.jp/c_topics/001/001708.html

■ おもしろいまちづくり 第 5 弾 ー目指せエコ達人ー（参加型）

- ◆ 日 時：2012 年 11 月 10 日（土）11 日（日）10：00～17：00
- ◆ 場 所：お台場 サイエンスアゴラ会場<日本科学未来館館内またはその周辺>
- ◆ 企画タイトル：親子で参加「おもしろいまちづくりエコゲーム」& エコな暮らし
- ◆ 開催主体：NPO 法人女性技術士の会 INWES-J 共催
- ◆ 内 容：サイエンスアゴラ会場で「エコな暮らし」をテーマに体験型展示を行います。

来場者とエコライフ双六ゲームをしたり、自転車搭載型浄水装置を使った水質実験、エコな住ま



いの展示を考えています。普段の活動には参加できない会員の方、お顔を見せてください。家族一緒、子供連れ大歓迎です。

連絡お待ちしております

◆ 連絡先：藤井由美 info@pej-lady.org

当日スタッフ大募集中！！

技術士をめざして

■ 寄崎舞音さん（技術士補：情報工学部門） 「きっかけと技術士」

こんにちは、この度『技術士をめざして』に原稿を書かせて頂きます、寄崎舞音(よりさきまいね)と申します。私の技術士を知って、技術士を目指すきっかけは些細な事です。今回は私の自己紹介とその些細なきっかけなどを書かせて頂きたいと思います。よろしくお願いします。



○些細なきっかけ

私が技術士を知ったきっかけは、父が技術士であったからでした。お父さん子な私は、(職業も関係なしに!!)漠然と、技術士ってカッコいい！と思っていました。大学で経営工学を専攻していた私が自分も技術士になりたいと思ったのは、(もちろん父の存在も大きかったのですが)専攻課程が JABEE 課程に認定されていたからでした。技術士になるにはどうすれば良いのだろう、女性の技術士のキャリアパスって？と思いインターネット調べた事がきっかけで、女性技術士の会のサロンを知りました。

○女性技術士の会での出会い

女性技術士の会のサロンでは参加者の仕事や勉学への直向きさや、不安など様々な思いを知り、共感を覚える事が多くありました。またそれだけでなく、様々な職業や立場の方に出会った事で、自分の世界の小ささに気がつきました。技術士サロンに参加した事で、技術士になるための心構えだけでなく、人と出会う事で自分の世界を大きくしようと思うきっかけとなったのです。

○あこがれの女性

きっかけ 技術士サロンをきっかけに、多くの働く女性、輝いている女性に出会いました。輝いている女性は、意志が強くしなやかというイメージを持っています。そのイメージの中に作家の向田邦子さんがいます。向田さんは技術士ではないのですが、向田さんの作品は人柄には輝くものを感じます。向田さんのエッセイで印象に残っている話があります。それは向田さんが、一人暮らしを始める際の家を探す話です。家探しの最中に、行き止まりの高台から東京オリンピックの開会式を偶然にも目撃し、なぜか涙が溢れてくる。この場面から他の作品にない、女性としての向田邦子像が見える気がします。

○技術士をめざして

様々なところで出会いの機会があります。出会いの1つ1つが未来の私をつくるのだと思います。オリンピックイヤーの今年、この『技術士をめざして』の原稿を書かせて頂く事になったのも、何かのきっかけだと思います。今は未熟な技術者ですが多くの出会い、学びから、輝く女性として、技術士としていつかスタートを切りたいと思っています。長々と書かせて頂きましたが、これからお会いした際には、みなさまどうぞよろしくお願いします！

ニュースレターについてのご意見・ご感想はこちらまで：info@pej-lady.org

2012年第1号 通巻第10号 発行責任者：特定非営利活動法人 女性技術士の会 理事長 岩熊まさ